

# 地域連携による震災時避難所運営訓練

長井連合町内会・長井地域運営協議会・長井防火防災クラブ

地元医師・市議会議員・消防団など防災関係者の連携

## 地域自立型の避難所運営を目指して

主催：長井地域運営協議会・長井小中避難所運営委員会

長井小学校では令和5年9月10日（日）に地域の町内会の役員を中心として、約100名が参加し震災時避難所運営訓練が行われました。

訓練では、震災後に小学校に到着した想定で、正門の開錠方法から防災収納庫の開錠説明を行い、避難所に必要な資機材の説明が行われ、体育館の安全確認を行った後、体育館に町内会別に集合して避難所の運営に必要な知識啓発を行うものでした。

体育館では、4グループに分かれ、それぞれのブースで以下の説明が行われました。

- 1 居住スペースの区割り
  - 1) 避難所の開放区域の説明
  - 2) 収容の基本ルールの説明
  - 3) 収容可能人数の説明

### 4) 基本的なルール作り



## 2 トイレの設置・照明の確保

- 1) 備蓄品の保管場所確認
- 2) 備蓄品の総量
- 3) トイレの使用方法説明
- 4) 発電機・投光器使用方法の説明



## 3 食料・水の配布・備蓄倉庫の場所紹介

- 1) 備蓄食料の保管場所確認
- 2) アルファ化米試食
- 3) 毛布の展示
- 4) 自宅備蓄必要性の啓発



## 4 避難者班の編成・避難者カード配布

- 1) 情報収集連絡票の記入
- 2) 避難者カードの記入
- 3) 避難時駐車場の説明
- 4) 備蓄倉庫の見学



訓練終了後は防災部会員で反省会を行い、今後の避難所運営の課題を共有し、特に仮設トイレの設置について変更が必要だと論議されました。

この訓練では、講師を防災部会員である町内会役員、地元医師、長井地区防火防災クラブ員、地元市議会議員などが務め、地域の防災力が集結された訓練内容でした。避難所の支援にあたる市職員も14名参加しましたが、地域の防災力の高さに関心している様子でした。